



2013-2014 年  
RI会長 ロン パートン  
第 2640 地区ガバナー 久保治雄



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

### 第 1779 回例会

平成 26 年 3 月 10 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

#### 1. 開会点鐘

#### 2. ロータリーソング

「我等の生業」

#### 3. ゲスト紹介

田伏 啓二 様

#### 4. 出席報告

会員総数 50 名 出席者数名 31 名

出席率 62% 前回修正出席率 70%

#### 5. 会長スピーチ

会長 小椋 孝一 君



皆さん、こんにちは。3 月といえば、各学校で卒業式や入学式の季節です。今日午前中、紀美野町立野上中学校の卒業式に行ってきた。やっぱり自分の心は新鮮な気持ちになるものですね。

3 月 8 日～9 日、次期会長エレクト山東さん PETS 研修会ご苦労様でした。(次期ガバナー補佐の谷脇さん、次期地区幹事の中西さん、次期幹事の柳生さん)

明日、平成 23 年 3 月 11 日は、東日本大震災から 3 年目を迎えるに日に当たります。被災された方々に対して哀悼の意を表すと共に早々の復旧が出来ますことお祈り申し上げます。

さて、今日のゲスト卓話は、田伏啓治さんの「過疎の取り組み」まちづくりのこれからについてであります。田伏さんには忙しい中当クラブにお越しくださり有り難うございます。

3 月のガバナー月信に、堺清陵ロータリークラブの健康管理委員会より「お酒を健康的に飲む 12 か条」が載っていたので紹介します。

・堺清陵ロータリークラブ 健康管理委員会より

「お酒を健康的に飲む 12 か条」

昔から”酒は百薬の長”ともいわれております。お酒そのものには必ずしも害があるわけではないがその飲み方によっては薬にもなり、毒にもなるもので、同じ飲むなら薬になるように飲みたいものです。以前

はタバコも吸わないし、お酒も飲まないのが健康に最もよいといわれていたが、現在ではタバコを吸わないで、お酒は少量飲むのが一番健康によいといわれております。少量のお酒を飲むというのは身体的にも精神的にもよい作用があるということです。

少量のお酒は精神的にも安定させてくれ、ストレス解消にも繋がります。一方、身体的には少量の飲酒は悪玉コレステロールを肝臓に運び分解させる善玉コレステロールを増加させる利点があります。健康的な飲み方については多くの規制があります。以下 12 項目について、よくご理解をいただき、健康的な飲み方をお守りいただきたいと思います。

- 第 1 か条 適量を守ること。適量とは、日本酒なら一合、ビールは中ビン一本、ウィスキーではダブル一杯まで、ワインは 200ml 位まで。多くてもその 2 倍まで。
- 第 2 か条 空腹で飲まない。急速吸収で酔いが早い。
- 第 3 か条 ”飲むなら食べる” 食べないなら飲むな” 胃の粘膜保護のため。
- 第 4 か条 マイペースで楽しく。一気飲みは急性アルコール中毒に、悪酔いの一因になる。
- 第 5 か条 ハシゴ酒、チャンポン飲みは避ける。つい飲みすぎになる。
- 第 6 か条 週に 2 日は”休肝日”を、年に 1～2 回は”休肝習慣”を。これが出来ればアルコール依存症でないことが証明できる。
- 第 7 か条 濃いお酒は薄めて飲む。吸収早く依存症になりやすい。
- 第 8 か条 お酒を飲みながらのタバコは厳禁。アルコールはいろんな物質を溶かし易い。胃からニコチンが吸収され易い。
- 第 9 か条 深夜まで飲まない。アルコール代謝に時間がかかることを考慮。
- 第 10 か条 ナイトキャップにも気をつけて。多量となれば逆効果。肝臓の負担大。
- 第 11 か条 薬と一緒に飲まない。肝臓が忙しく薬の処理が遅延し、後で効きすぎる。
- 第 12 か条 お酒のあとのラーメン一杯は禁物。肥満、悪酔いの原因となる。

以上、要約すればお酒を飲むなら量を適量に、ゆっくりと、深夜を避け、マイペースで楽しく、更に休肝

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 SAA：重光 孝義

<http://www.kainaneast-rc.jp> E-mail : [info@kainaneast-rc.jp](mailto:info@kainaneast-rc.jp)

日を忘れずに！！

堺清陵ロータリークラブ 週報 No.1025 抜粋  
2011-12 年度健康管理委員会 渭東祥晃様より

## 6. 幹事報告

幹事 大谷 徹 君

○例会臨時変更のお知らせ

田辺東 RC 4月2日(水) → 4月2日(水)  
12:30～ ガーデンホテルハナヨ  
(移動例会のため)

和歌山北 RC 4月7日(月) → 4月9日(水)  
18:30～ ホテルグランヴィア和歌山  
(35周年記念例会)

4月14日(月) → 4月12日(土)  
18:30～ JR九州ホテル鹿児島  
(親睦家族例会)

○休会のお知らせ

和歌山北 RC 3月24日(月)

## 7. ゲスト卓話

田伏 啓二 様

「過疎への取り組み」まちづくりのこれから

田伏 啓治 様 (たぶせ けいじ)

紀美野町在住の 62 歳 (男性)

(白い頭がトレードマーク)

昭和 26 年 4 月 紀美野町

(旧 野上町) に生まれる

昭和 45 年 4 月 和歌山県に奉職

平成 24 年 3 月 退職

平成 24 年 4 月 県の退職職員の再任用制度を活用して海草振興局地域振興部企画産業課で過疎対策事業等のサポートを



地域活動について

仕事としての活動を通じて、地域の活性化、過疎対策のお手伝いなどを行っているが、特に紀美野町真国地区におけるりら創造芸術高等専修学校を舞台とした世界民俗祭と伝統芸能祭りを核とした地域の活性化、元気づくり運動に参画。

現在も海南・海草地域における過疎対策事業に取り組んでいるが、プライベートでの活動を通じて地域づくり、まちづくり運動に、多くの人たちに交じって取り組んでいる。

自らを「奇人、変人、変り者」と称し、自らの考え方を、忌憚なく披露し、地域づくり、地域興しの活動に、かかわっている。

焦らず、慌てず、あきらめず、努力をしていれば、もしかしたら実現するかもしれないから！が、心の言葉！Kプロジェクトの合言葉！でもある。若い人たちにエールを送っているおっちゃん。

「過疎への取り組み」と「まちづくり」のこれからについて

副題 人と人との繋がり(協力と協働)でかもし出

す、地域と元気づくりと活性化へ！

①行政と民活力との協力・協働の大切さ

「行政の持つ制度」と「民間人のクリエイティブな活動」(地域住民の自主的・自立的な活動)

②民活力の高揚のために(今、海南・海草は人の熱気が！特に熱い！)

Kプロジェクトの役割は大切！住民自ら立ち上がり、自主的に地域の元気づくりへ！これは、民間人の自主、自立的な活動が大切であるとのメッセージを表す「クリエイティブな運動」である。

Kプロジェクトとは？

海南海草地域を拠点に活動する人々の絆のネットワーク。Kは、海南のK 紀美野のK 絆のK 希望のK 感謝のK 感動のK 観光のK 雇用のK

夢を実現したい！この思いに賛同する仲間が集まりました

③海南、海草地域から新しい地域づくりの考え方のモデルを発信しよう！

このような運動はどこから生まれてきたのか？過疎地域である紀美野町真国地区のりら創造芸術高等専修学校と地域住民との協働による世界民俗祭&伝統芸能まつりをきっかけとした過疎対策事業と活性化事業のコラボレーション。ここから、地域住民と地域外住民との、人と人のクリエイティブな協働した活動が！

ここに、行政と民活力とのコラボレーションが生まれている！ここに集まった人たちがその後共に力を合わせて、海南・海草地域の民活力を向上させるための運動に展開し、発展してきている。

※黒江の町並みを活かした景観づくり協定協議会(黒江 Japan) のサポートクラブ

※海南ロータリークラブ創立 60 周年記念事業への協力

※ふるさと劇団「海南座」の誕生へ

Kプロジェクトの誕生へ、お世話してくれているのは、紀美野町在住の松本元信さん、海南市在住の古田充司さん

④過疎対策と地域の活性化は共通のテーマを持っている！

Kプロジェクトは何を目指すのか？

地域人財力の協働意識の向上を目指す。いろいろな人が、その職業や考え方、地域性や慣習文化、年齢や性別、国籍や言葉、思想や心情など様々な違いを超えて、ひたすらに地域の将来を、未来を！

元気で明るいものであることを願い、その実現を一心に志す人々が、共に協働する考





え方を広める運動を行う集団である。新たな地域文化を創造（クリエイト）しようとする運動に一心を込めて活動を展開する新たなクリエイティブな集団（クリエーター集団）です。

そこから生まれる（創造される）出来事は、ひたすらに集団の1人1人の意思が凝縮・表現されている！

地域人財力の向上を目指すことから遠い将来を見つめ焦らず、慌てず、あきらめずに、思いを伝えていきましょう！人と人とが協働する、絆のネットワークを築くのですから畏れず、臆さず、何事にも向き合いうまくいったからといっておごり高ぶらず、常に研鑽と学びの姿勢を怠らずに、互いの経緯と尊敬の念を抱きながら！

#### ○心得の帖

ひたすら、個人の利害損得を考えず、地域のためにそれぞれが持つ意志（ココロザシ）と自ら行動する力のみを信じて、ひたすら世の非難と中傷にも耐え、雨の中、雪の中、嵐でさえも苦とせず、笑顔を絶やさず、いわれるまでもなく自ら「おバカ（奇人・変人）」と宣言し、日々活動する人が結集するプロジェクトチーム（人的ネットワーク）である。

このプロジェクトチームは、忍法「草忍」のごとく、日々は個々人の活動を認め合い、干渉することなく、互いに尊敬し合い、時にはさらりと応援・協力し、一丁事あるときは、それぞれの持ち芸（忍術技）を一つの目的のために結集し、モデルを構築することに全力を注ぎ合う、「スーパーおバカ忍群」である。

今の時代において、地方の負の課題は多く、どこもかしこも「地域力の低下」を叫び、再生、活性化を叫び続けているが、成功している例はきわめて少なく、多くは高齢化と少子化と経済力の低下をひたすら難題と位置づけ苦悶の表情を表している。

しかしながら、声高に叫んでいるばかりでは解決の道は見え、さりとて「アドバイザー」なる者を呼んで意見を聞いたところで、道は開けず、自らが何をしたいのか不明のまま、多くは霧の中で道に迷っている。我らは「アドバイザー」にあらず、さりとて「固有の地域びと」にあらずとも、自ら行動し、アイデアを創造し、実現のために汗水を流し、率先して範を示し、生き残る見本（モデル）を構築するために、この一身を捧げる集団である。

- ・愛と絆と奉仕と貢献を合言葉とする。
- ・人を最も大切に思う集団である。
- ・すべての出来事は、人の活動から始まる。
- ・れまじ！

## 8. 閉会点鐘

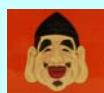
次回例会

第1780回例会 平成26年3月17日(月)

海南商工会議所 4F 12:30～

会員卓話 「PETS報告」

会長エレクト 山東 剛一



## ニコニコ・BOX

- |         |   |
|---------|---|
| 小椋 孝一 君 | 本日、田伏啓治さん、卓話ご苦労様です。宜しくお願い致します。                            |
| 上中 嗣郎 君 | 田伏さん ご苦労様です。  |
| 大谷 徹 君  | 本日卓話ありがとうございます。   |
| 田中 祥秀 君 | 田伏さん、本日の卓話ありがとうございます。先日の海南座成功おめでとうございます。益々地域の為に宜しくお願いします。 |
| 角谷 太基 君 | 先週の火曜日、柳生さんの息子さんのお店で食事させて頂きました。                           |
| 柳生 享男 君 | 角谷さん、ありがとうございました。   |
| 宮田 貞三 君 | 娘が嫁に行きました。  |

## Rotary ロータージャパン

「世界の子どもに識字力を与える」

R I 会長 ロン D. バートン

親愛なるロータリアンの皆さん、アメリカ・オクラホマ州ダンカンで育った私は、誰もが読み書きできるものと思っていました。私が通った小学校では、7～8歳ころまでには、普通に読むだけではなく、本を上からのぞき込んでも読むことができることも求められていました。クラスのみんなが一人ずつ順番に本を朗読しました。もちろん、みんなに絵を見せながら、大きな声で朗読したいと思っても、簡単にできることはありません。

小学生のころは毎週そんな練習をしていたので、最後には、どんなふうにも本を持ってもすらすらと読めるまでになりました。

読み書きの大切さを再認識

当時、そのようなスキルについて、あまり深く考えたことはありませんでした。数か月前、アラバマ州ディケーターで行われているロータリーのプロジェクトを訪れた際、私が1年生の教室に入ると、6歳の児童が学ぶその教室で、本を読むよう頼まれました。もちろん私は、喜んでその願いに応えました。腰を下ろし、彼らが選んだ本を開き、約30人の小さな子どもたちに向かって、私が2年生の時にしたのと同じように、上からのぞき込んで本を読み始めました。

ロータリアンが手助け

つまり、半世紀以上前に学んだのとまったく同じこ

3月は識字率向上月間です

とをしたのです。しかし、大人として、そして特にロータリアンとして、その経験は異なることのように思えました。私は、読み書きを一生懸命学んでいる子どもたちのグループに対して本を読んでいました。私たちは彼らの教室を見学しました。その学校では、ロータリアンが毎週通い、手助けが必要な子どもたちに対面で本を読んであげています。その教室にいる子どもたちが成長して、読み書きができる大人になるであろうことに疑いはありませんでした。たとえそれが上からのぞき込んでいるような姿勢でも、大人たちが子どもたちに本を読んで聞かせるように本を読むことができるようになるでしょう。

私たちの活動を祝う

世界には何百万もの恵まれない子どもたちがいることを、私たちは知っています。だからこそ、私たちは基本的教育と識字率向上をロータリーの奉仕の優先事項にしています。

今月は識字率向上月間です。地球の裏側にいる子どもであれ、まさに自分の町にいる子どもであれ、私たちが行っている子どもの識字率向上に対する支援が、どんなに素晴らしい贈り物かを、あらためて考えてみましょう。

## 米政府、2億500万ドルを ポリオ撲滅活動に

バラク・オバマ米国大統領は、1月、ポリオ撲滅活動を支援するための2億500万ドルを含む予算案を承認しました。この資金は、米国疾病対策センター(CDC)と米国国際開発庁を通じて撲滅活動に充てられます。

米国政府は、1980年半ばから計23億ドルを超える資金をポリオ撲滅活動に投入しており、世界最大の支援国となっています。支援開始当時、ポリオは125カ国で猛威をふるい、年に35万人がポリオに感染していましたが、今日、野生ポリオウイルスが常在する国は、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国を残すのみとなっています。これら3カ国における2013年の感染数は157件であり、過去最少数となっています。また、インドではポリオ無発生期間が3年間を経過し、インドから東南アジアにかけての地域が「ポリオフリー」(ポリオがない地域)として認定されることになります。



「ポリオ撲滅活動は、医療保健の分野における大きな遺産。そこで得られた経験と知識は、すでに世界の公衆衛生に幅広く応用されている」と話すのは、米国でポリオ撲滅活動のタスクフォースを率いるジェームス・レイシー元国際ロータリー会長です。このロータリーのタスクフォースは、ポリオ撲滅の重要性と、

世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)への支援を米国政府や各団体に呼びかける上で、中心的な役割を担っています。

GPEIでのロータリーの役割の一つに、アドボカシー(政府への支援の呼びかけ)が含まれます。これまで自らが12億ドル以上をポリオ撲滅に投入しただけでなく、1988年のGPEI発足以来、ドナー国から90億ドル以上の資金援助を確保する上でも貢献しています。

## インドがポリオ無発生3年を祝う

インドで最後のポリオ症例が報告されたのは2011年1月13日。そしてこの度、ポリオ無発生期間が3年間を経過し、ポリオ撲滅の認定条件が満たされた同国内では、30年近くに及ぶポリオとの闘いの歴史的勝利を祝い、全国の主要建造物に



「インドからポリオがなくなった(India is polio free)」の文字が大々的に美しく映し出されました。インドで3年間ポリオが発生しなかったことにより、東南アジア地域全体が世界保健機関(WHO)によって「ポリオのない地域(polio-free)」として認定されることになります。インド政府は、世界ポリオ撲滅活動での勝利を祝うため、2月にポリオサミットを招集する計画を立てています。

今後の課題は、この成功を隣国パキスタンでも実現すること。パキстанは、アフガニスタンとナイジェリアとともに、野生ポリオウイルスが未だ常在する3カ国の一つです。インドのロータリアンは、自国で成功したポリオ撲滅キャンペーンでの経験や教訓をパキスタンのロータリアンに指導するなどして、隣国でのポリオ撲滅に協力しています。パキスタンでは、イスラム教徒の親が子供への予防接種を拒絶するという問題も起きており、インドのイスラム教コミュニティの有力リーダーから支援を得る上でロータリーが大きな成果を上げたことを知ったパキスタンのロータリアンも、ポリオ予防接種に関する誤った噂や情報を正すために懸命に活動しています。

そんな中、両国では引き続き全国予防接種日を実施され、ロータリーのボランティアが地元の保健従事者とともに5歳未満の子供にワクチンを投与しています。「パキスタンの子供を守るため、そしてインドやその他の国へのウイルス流入を防ぐために、パキスタンからポリオを撲滅しなければなりません」とインドのポリオプラス委員長、ディーパック・カプール氏は話します。「ポリオが全世界からなくなるまでは、どこに住んでいようと、予防接種を受けていないすべての子供が感染や身体麻痺の危険にさらされているのです」